

# まだ「大阪都」って？

堺市長選挙や大阪市の「住民投票」で否決されたのに、また「大阪都」？  
「そんなん『二度づけ』禁止や！ルール守れ」と怒りの声がでています。  
同時に、「やっぱり『大阪都』やないと変わらへんで」などの声も。  
ホンマにそうか？ みてみましょう。



ペテンと  
ごり押し、  
「二度づけ」で

あきれ手法



「大阪都」にたいしては、中身とともに、そのやり方のひどさへの批判が広がります。

4年前の選挙では「騙されないで下さい。大阪市はバラバラにしません」とビラをまいて、市長就任すると「大阪市つぶし」に突っ走る。

「大阪都」の設計図づくりが行き詰まると「出直し市長選挙」をやつて6億円のむだづかい。それで「野党委員」をすべて「与党委員」にさしかえ強行。

「住民投票」では5億円もの「政党交付金」を湯水のようにばらまいて「金権選挙」。その支払いをめぐる「維新の党」の分裂騒ぎが続いています。

「住民投票」では「ラストチャンス」と叫び、敗北したら「政界引退」（橋下市長）、「民間人に戻る」（知事）とまでいった方が、今回のダブルのたかいで、またぞろ「大阪都をやらせてほしい」?!

あまりにも大阪市民も、府民もバカにしたやりかたではないでしょうか。

大阪が発展する？

いいえ、

成長の

エンジンが壊され、

さらに落ち込みます

「大阪都」は、「大阪市」や「堺市」をつぶすものです。126年の歴史をもち、「商都大阪」を担ってきた大阪市をつぶして、なぜ大阪が発展するでしょう？  
おまけに「カジノ」「道頓堀プール」などに熱心で、中小企業支援はないがしろ。「維新府政」のもとで、大阪経済はどこより落ち込んでいます。  
「しくみ」でなく、くらしと中小企業をあたためる府政へ、「中身」の転換を。

くらしが充実？

いいえ、

「府」を変質させ、

くらしと福祉の

ささえがなくなり

「維新」は、「福祉や医療は市町村の仕事」と、「府」の仕事をどんどん削減してきました。救命救急センターへの補助金はカット、学校警備員の市町村補助は削減。子どもの医療費助成も、市町村の努力で「中学校卒業まで」などが広がっているのに、これをささえる府の水準は全国ワーストの「小学校入学前まで」。  
「大阪都」ではくらしや福祉は市町村まかせ。「府」の仕事は投げ捨てられます。

ムダがなくなる？

いいえ、

新たに

ばく大なムダが

生まれます

「三重行政」がなくなるからええ？でも、橋下さんらがいうのは大昔の話だけ。いまどこにムダがあるかはいえず、知事は、体育館は両方あっていいと言いだしています。  
「都」で削られるムダはほとんどなく、逆に「区役所庁舎」建設など、680億円以上のばく大な負担のしかかります。しかも、「都」と「区」と「一部事務組合」の「三重行政」が始まります。